

修善寺・虹の郷ライトアップ

前夜祭は「コスプレナイト」
200人、紅葉バックに撮影

伊豆市修善寺の修善寺・虹の郷は13日夜、ライトアップした園内をコスプレヤー限定で開放した。14日に開幕する「もみじライトアップ」を前に、周囲に気兼ねすることなく紅葉をバックに写真撮影を楽しんでもらおうという初めての試み。200人近くが来園した。

思い思いの衣装に身もきれいで「うぐれを包んだコスプレヤー」たちは、園内「伊豆の村」「日本庭園」「匠(たくみ)の村」などでポーズを決めて写真に納まった。東京から来たという「ともちさん」と「智明さん」は、「アニメ「鬼滅の刃」の竈門炭治郎と富岡義勇に変身した。ともちさんは「園内で自由に撮影できるなんて、通常はあり得ない。紅葉引き続き、コスプレの



思い思いの場所でポーズを決めて撮影を楽しむコスプレーヤーたち
＝伊豆市の修善寺・虹の郷

聖地”を目指して、いろいろな企画を考えていきたい」と話した。もみじライトアップは12月3日まで。時間は午後4時～9時(期間中無休)。園内の紅葉の色づき具合は現在だとう。



伊豆総合高校の生徒が制作した竹のオブジェ「池の守り神」
＝伊豆市の修善寺・虹の郷

巨大オブジェ「池の守り神」
伊豆総合高生制作
「もみじライトアップ」を行っている伊豆市修善寺の修善寺・虹の郷に、伊豆総合高の生徒が制作した竹のオブジェがお目見えした。園内「菖蒲ヶ池」のほとりに設置され、来園者の注目を集めている。
池から飛び出す魚をイメージした「池の守り神」で、高さ約1・8メートル、幅約2・4メートル、うろこに見立てた竹筒には、発光ダイオード(LED)ライトが取り付けられて

いる。工業科建築デザ成させた。イン類型の3年生6人が、3カ月がかりで完の協力で制作した竹灯籠約30本も飾られている。園内には同じく同高の協力で作った竹灯籠約30本も飾られている。